

日七十月二

常警日新聞

定価 一月五錢 三月一圓二錢 半年二圓二錢 一年四圓二錢
廣告料 五錢 二字詰一行五錢 五字詰一行一圓 日曜日の翌日休刊
發行所 常警日新聞社
印刷所 常警日新聞社

谷底と富士山

真繼 雲山

(一)

宗教とは感恩の生活である。然るを佛天の恩寵を否定する人々は、ナニ俺れの家に住んでゐるんだ、俺れが働いて作つた米だ、俺れが稼いだ金で買つて食うのだと、一かどの理窟を並べながら材料にせよ葉つ葉にせよ米一粒にせよ魚一尾にせよ、人間の力で作つたといふものは一つもない。皆んな天道様が作り給ふたのを人間が口で取つて来てそれを勝手に値段を付けてゐるのである、人間式な経済的の価値といふのは天より貰うたもの（或ひは黙つて持つて来たもの）に對する採集料や運賃や手数料を加算して、市場の取引値段としてゐるのである。鰯一尾でも海に向つて代價を支持つたものがあるか他の生命を無断で奪つて来て、禮一つ言はずに、旨いまづいと贅澤を並べるとは無禮不知恩も甚しい。若し海に代價を支拂はねば鰯一尾とることとはまかりならぬと成つたら、人間の経済生活は破産の外あるまい。

は、決して無生物たる土や石や金を食うて生きることには出来ぬ、野菜にせよ穀類にせよ魚類にせよそれはひとつ／＼一個の生命であるその生物の命を奪ふて我が生命の糧とするにあらざる限り生きてはゆけぬ、則ち甲の生命を移して、乙の生命としてゐるものであつて一つの生命は、他の多くの生命の犠牲の結晶であることを知るとき、私たちは相濟まぬといふ懺悔を念としつゝ謙遜な生活を営むの外はない。

ノート

ヒマシ油を服んだ後で梅干をしやぶると口中がサツパリする胸がむかつく様なら番茶を飲むと落ち付く

二明日の献立二

- 【朝】旨煮：高野豆腐 ゆば
- 【晝】牛肉めし：牛肉 糸こんにやく さしがきごぼう 紅生姜
- 【晚】白みそ汁：かさ青味

或る他の家庭を訪れる時小やかな食事の仕草一つによつても、その家の信仰の程度が分る。先づ箸を採るに當りては、合掌か、頂禮

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病

松村 腸胃病 腸病 胃性

院醫科 腸病

〇七一話電

か、黙禱か、必ずその一があつて然るべしと思ふ。副食物の如何によりて不足の思ひをなし贅澤を並べると至りては、心事の下劣論外とすべきのみ。

私は常に、子供や書生に向つて試めることであるが世間の家庭では往々にしてお櫃の御飯を茶椀につぐ時に、杓子を以て飯を掘り下げ、谷底のやうに眞ん中に穴をあける人がある。

空を飛ぶ鳥を指して飛行機はあの鳥からヒントを得て作つたんだぞ、なる程ねとたん頭に鳥の糞が落ちて来た、爆弾投下はこれからヒントを得たんだ

小兒科 内科

特ニ乳幼児ノ康健相談ニ應ズ。

平町 ねずみ坂

渡邊 醫院

電話一六一番

質流れ衣裳類 一式

御仕立御祝儀物

三丁目通り

旭屋衣裳店

電話四二五番

御贈答に!!! 漆器を!!!

記念品に!!!!!!

諸景品に!!!!!!

御問の 共は 誠實勉強 親切第一 在庫豊富

是非御用命を

ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ、ナルモノミセ

平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

各産産漆器

専門卸小賣

漆器店

店員募集 十三才迄位 小 店員 外 交 員

高久病院

院長 醫學士 高久 忠

副院長 新潟醫學士 赤羽 清

藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科

平町田町 電話五二三番

耳鼻喉科 レントゲン科

旭硝子株式会社製品

赤菱印

板ガラス

硝子食器

其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)

仙臺市榮町(電話五九七番)

貸切の... 御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ... (マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

イヤ! 君!

いゝ冬服を求めたね

断然三三年型だよ

いやコレガネ!

例の...「ソレ」

正礼堂

毎度御ひいき


有難ふ御座ります

うなぎの御用命は

うなぎ奴

平町田町(電話二二三番)

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!



六三四電通場車停目丁四平

各國名産を陳列し 直賣會を催す

平商の廿週年記念

一方磐中と各競技對校試合

平商業學校にては同校創立滿二十周年記念日たる五月十日に種々催しを爲すべく昨日職員會を開き協議した。當日は記念式終了後各國名産陳列即賣會を催す一方磐中と野球、庭球、弓道、柔剣道の各部對抗試合を試みる豫定である。

第四校建設

委員の意見纏らず

更らに豫算打合會で熟議

既報平町役場では昨十六日會議室に學務委員會を開き目下問題となつて居る第四小學校新設案に就いて各委員の意見を求めたが結局一致せる意見が纏らずに散會來る十九日の豫算打合會に於いて全町議と熟議の上具体的な對案を立てる事になつた。

音樂遊戲

磐中主催で

講習會開催

磐城中學校音樂研究會にては石城、双葉兩郡教育會後援の下に來る三月二十六日より三日間平第二小學校に於て唱歌と遊戲の講習會を開催する事になつたが科目は左の如く講師は専ら音

速成胡瓜

廿日頃見參

相場は一本五六錢位か

石城郡農會で郡下農村の副業として豫てより獎勵しつゝあつた速成栽培の胡瓜が廿日頃よりポツ／＼市場に現れる迄に至つたが時節外れの珍品として相場も一本五、六錢位には賣れるであらう。

大浦共同販米

磐城販賣利用組合大浦農業倉庫の共同販米は十五日執行、

磐女受験生

十八名出發

磐城高等女學校にては本縣女子師範部入學試験が

明日より二日間施行されるので本日左記受験生十八名が新妻教諭附添への下に平發九時にて出發した
鈴木徳子 新妻ツネ 草野敏子 酒井キヨ 半谷まさ子 飛田トミ子 橋

浅野記念館披露

花時に盛大舉行

高坂長橋間のマラソン

石城郡内郷村磐城炭礦では竣工した浅野記念館の披露式を四月十四日盛大に舉行するが當日は同礦競技部

町の豫算を内示

豫め打合會を開く

平町役場では來る廿四、五日頃豫算打合會を開會する豫定である爲め豫め全町議の意見を聴取せんと來る十九日午後一時より會議室にて豫算打合會を開くと

小名濱に

檢海儀

東北唯一

東京中央氣象臺では大洋氣象觀測のため石城郡小名濱町小名濱測候所内に潮の干満を計る檢潮儀を工費一萬圓にて設置する事となつたが右檢潮儀は千葉縣以北には設置されてある箇所がなく東北地方では初めてである

大塚の靴

斯界の權威!!!
學生靴 自生編上靴 六圓
女學生半靴 五圓
紳士靴弊店自慢の流行新形

大塚製靴部

平田町 電話七七番

磐城セメント會社特約店

久全屋瓦店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は人の生命なり

磐城 共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙 郎
自宅(電話二二四番)

內科 醫學博士 石山謙 郎
小兒科 醫學博士 石山謙 郎
外科 醫學博士 石山謙 郎
喉科 醫學博士 石山謙 郎
皮膚科 醫學博士 石山謙 郎
産婦人科 醫學博士 石山謙 郎
X光線科 醫學博士 石山謙 郎
衛生試驗所 醫學博士 石山謙 郎

診察時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず

平町 磐城共濟會
電話六四一番

專門 婦人科

花柳病科

井坂醫院

平田町 電話五五九番

平署跡の敷地が

愈よ廣小路に

猛運動の結果縣が内諾

四月迄に實現

既報舊平警察署敷地の處分は單價の相違から空地の儘で更らに目鼻がつかなくなつたが青沼町長、井上、野崎正副議長は去る十三日出縣の際種々運動の結果表側敷地三百七十坪は坪廿五圓、官舎跡敷地百坪は十六圓として平町に譲渡し現在の御筒小屋のある箇所六十坪は曲線の廣小路道路に當てる

との内諾を得たが表側敷地の合計九千三百五十圓、官舎跡敷地の合計千六百圓合せて一萬八千五百圓は五ヶ年々賦拂ひとして縣に納入する事となつたので近く町會に附議される筈であるが町では廣小路實現を花の四月頃迄に達成する意圖を有して居ると

鰯肥料製造業が

活況を呈す

設備を擴張し 續々求人申込

既報石城郡小名濱、江名、豊間等の鰯漁豊富と共に鰯の肥料製造は非常に活況を呈して來た是れは農村の肥料需要期に際し金肥の暴騰をみた爲め中小農家では安價な魚肥で間に合せる向が續出して來た爲め前記漁村の加工業者は何れも設備を擴張し使用人の増加を急いで居りこれ等製造業者より平職業紹介所に小名濱七名、江名五名、豊間一名の難求人申込みがある

福島から囚人十五名

平刑務所の高塀修繕に來平

平刑務所にては周圍の高塀が過般の暴風雨の爲め倒壊された儘になつて居るので全部在監人一同で近日工事に着する事になつたが福島刑務所よりも十五名工事應

婦人を刃ね飛し

自動車何れいか逃走

石城郡内郷村大字小島字新町居住伊藤貢母トヨ(四)は今朝七時半頃自宅前國道を通行中前方より疾走し來つた貨物自動車に衝突跳飛され足腰等に全治二週間の打撲傷を負つたが自動車は其儘逃走したので届出により目下平署で該自動車を探査中

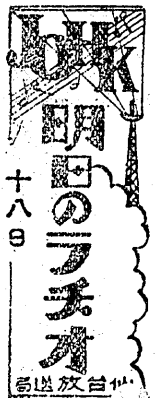
風に吹倒された

大木に押潰さる

石城郡澤渡村字下市菅居住木挽職折笠順太郎(七)は去る十五日の烈風の際附近山林で伐採作業中倒れた大木を避くる暇なく下敷となり頭胸部を強打自宅で治療中昨十六日絶命した

小名濱歌留多會

石城郡小名濱町の歌留多會は來る廿五日午後三時より



今晩は北西の風曇り明日は北東の風晴曇半す

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「竹笛」萩尾悟郎
後七、三〇 講演「デビスカップ」戦出場的首选に際して 佐藤次郎

後七、三五 講演「日支問題と列國の外交」法學博士米田實
後八、〇〇 ラヂオレビュー
「お蝶夫人の幻想」
後八、四〇 浮世節「明治時代の流行歌」解説悟道

軒圓玉 唄立花家高之助
後九、四〇 全國一氣象通報 番組報告
明日の部
前九、一〇 料理献立「野茶の袋煮」村井多喜子
前一〇、三〇 家庭講座「鹽の話」吉本滿
後一〇、〇五 俚語 菊家雪
後二、〇〇 家庭大學講座「ラスキンの女性觀」御木本隆三
後五、三五 受験講座「國

白井氏が逝去

平區裁判所元監督判事白井武松氏は司法界引退後山形市にて辯護士開業中の處去る三日逝去したと

歌留多の名手

平町で競技會

平歌留多會主催關東北歌留多競技會は來月五日正午より藤田女學校にて開催されるが茨城宮城等よりも申込があり盛會を豫想されて居ると

平裁判たより

既報石城郡飯野村大字上荒川草木八番地志賀傳内(二)に對する私文書偽造行使公正證書原本不實記載行使詐欺事件及び共犯者平町字七丁目十五番地志賀欽作(四)に對する詐欺補助横領事件の判決公判は本日午前十時より平區裁判所に於て關口判事係り小林檢事及び吉田書記立會の下に開廷され判事は懲役五ヶ月但し各四年間刑の執行猶豫を言渡

平職業紹介所報告

求人を求める方
● 糯米雜夫 三十迄 尋卒
● 給料面談(鹿島村某)
● 豆腐賣子 四十才 尋卒
● 賣上の二割給(平町某)
● 兎守 十四才 尋卒 仕着外年十圓(平町某)
● 鮮魚雜夫 二十五才 尋卒 月八九圓(小名濱町某)

話「内海弓藏」
後六、〇〇 講演「現下の西藏國狀」多田等觀
後七、三〇 「子供の木琴」獨奏名古屋みどり音楽會
● 員「粗忽長屋」柳家推太樓「獨唱」大川澄子「童話劇」西遊記「木馬童話劇」研究會
● 後九、〇〇 管絃樂「コ罗纳、サロンオーケストラ」
● 後八、三一 滿洲より

回職を求める方

● 鐵工場設計 二十三才
● 工科學校卒 給料面談(内郷村某)
● 女中 二十才 高卒 給料面談(川前村某)
● 看護婦見習 十八才 高卒 給料面談(川部村某)
● 活版工 十七才 高一修 給料面談(平町某)

三井タクシ

電話六八五番

素来の剣道

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百六十九席 千葉周作

思ひがけぬ平手の遺児
藤作は無罪の申し渡しを受けて潮來の役所を出ると迎ひの者が待つてゐる、その中に柏屋と云ふ料理屋の主人がゐるが

柏「藤作や汝が今度助かつたは江戸のお玉ヶ池においでなされる日本一の剣術の先生千葉周作様のおかげだその御恩を忘れてはならぬぞ」

藤「左様でございますか、してその千葉先生は何處にござらつしやいます」

柏「この潮來の宮本先生の許にゐるだ、早速お禮に行かうが」

と藤作をつれて一同打揃ひ宮本茶村の許にゐる千葉周作先生のところへ来た、周作先生は委細を聞いて周「それは目出度いことである、潮來の役人佐藤五左衛門よりの知らせによつて今日藤作の免される事は存じて居つたが無事に出牢いたしたは喜ばしき事であるこの上にも父を大切にいたせ、孝行の徳によつて危きところも助かつた」

藤「ハイ、先生の御恩は決して忘れはいたしません、有難い事でございます」

と何度となく禮を申してこれから津の宮に戻つたが親父の四郎兵衛は藤作の無事なるを見て夢ではないかと喜びました、これから津の宮の年寄りが集まつて周

その時に柏屋の主人が柏「先生に御覽に入れるものがございます」
周「それは何ういふものか書畫であるか又刀劍か」
柏「そんなものではございませぬ、生き物でございます」
周「生き物、鳥か又獸物が或は魚か」
柏「そんなものでもございませぬ、これおしづや、子供をつれて此方へ出て來なさい、イヤ遠慮をされると喜ばねえ、悠う云ふ時だ先生にお目にかゝるは」



作先生に禮をしなければならぬと使ひを出して招きました、千葉先生も人々の厚意を無にするも不本意と津の宮の料理店柏屋に參つた一同はこの度の盡力を謝し心をつくして待遇します、

と云はれて可愛い男の子を抱いてそれへ出て來たは二十二三になる女、容色もよろしい、千葉先生はこれを見て周「柏屋の主人、拙者に

見せる生き物はその女子か……」
柏「左様にございます、あなたのお弟子で先年破門になりました平手造酒先生……此の悴は遺児でございます」
斯くと聞いて周作先生が周「何んと申す、平手の……此の子供は悴であつたか」
柏「左様でございます、お聞き及びでもございませうが、平手先生は笹川の繁藏の許に居りまして、折々津の宮に遊びにお出でなりましたが此女……之はあなたがお助けした藤作の姉でございましてしづと申す、それが平手先生の御寵愛を受けましてこの子供を生んだのでございまして、これおしづこの先生の爲に藤作が助かつたぞよく御禮を申せ」
おしづはこれに手をついて

しづ「この度は弟の大事をお助け下さいまして何とも御禮は言葉につくされませぬ、有難いことでございます」
周「イヤ、その悴は平手の血筋か、オウ親子は争はれぬものだな、よく似てゐるこれへ參れ、名は何んと申す」
しづ「小一郎と申します」
周「オウ小一郎と申すか、さアさこれへ參れ、貴様の父平手は劍道にては麒麟と云はれた名人であるが、身持よろしからずこれがために博徒の群に入り果ては横死した、劍道は父に似るとも、その行は必ず似るな」

と云ひましたが、それは名言業は親にあやかるとも品行は親にあやかつては大變、時に千葉先生は脇差を取つて周「これをそちに遣はす、この腰の刀は忠綱の鍛へしものである貴様の魂として贈る或長の後には父の汚名を電き天晴人になれよ」
と云ひながら頭を撫ると小一郎はニコニコ笑つてゐる

周「只今申た事が判つたかこの悴何才になる」
しづ「三才でございます」
周「オウ左様か、大切に養育いたせ、十歳を越えたらば拙者の許に連れて參れ手許に置いて武士らしき者にいたし遣はす」
と養育料として金子二十兩與へたおしづは大層喜びました

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

市原醫院

平町田町
電話二一四番

江戸前料理

主人自慢の鳥料理
水タキ

▼出前迅早!

錦

電話四五四番

水

外科

門專 X
科線 光

上田外科病院

平町南町
電話一二九番

今度左の様な献立に寄りましてせいかくお氣に召します様に勉強致します。何卒御尊來御試食の程伏して御待ち申上げます。

ひな鳥
水たき 御一人前金五十錢
二人前ヨリ
新鮮
鯛茶 漬御一人前金五十錢

金壹圓

料理四品酒一本付
◇料理は毎日献立を替へて調理致します
◇御宴會出前は如何様にも御相談に應じます
割烹旅館 住吉屋本店
電話一五九番

吉田眼科病院

平町南町、電話六八番